

決算総括質疑通告議員

H24年第3回（9月）定例会

- 1 山 川 香 一
- 2 宮 澤 一 照
- 3 吉 住 安 夫
- 4 丸 山 喜 一 郎
- 5 横 尾 祐 子
- 6 渡 辺 幹 衛
- 7 関 根 正 明
- 8 塚 田 克 己
- 9 作 林 一 郎

決算総括質疑通告要旨

H24年第3回（9月）定例会

1 山川香一

1 市税徴収確保対策事業について

妙高市の人口は減少し、市税も減少している。市税徴収確保対策事業で徴収を強化し、納税折衝と差し押さえで、現年度分収納率は全税目で改善し、前年度比0.3ポイント改善、過年度分も前年度を上回る9000万円を超える収納額を確保し、努力と改善が見える。しかし、固定資産税の不納欠損処分では1607万円ほど出ている。

- 1) 平成23年度の市税徴収確保に向けた具体的な取り組み内容はどのようなか。
- 2) 今後の取り組みと重点課題はどのようなか。

2 ガス事業会計決算について

- 1) 妙高高原供給区域と新井供給区域のガス使用量の平成23年度実績はどのようなか。
- 2) 妙高高原供給区域は熱量を13Aガスに変更し、ガスホルダーを撤去したが、それらは経営改善にどのような効果があったか。
- 3) 今後の経営改善に向けた取り組みはどのようなか。
- 4) 販売量をふやすため、余裕のあるガス燃料を妙高地区へ供給することを検討したか。

3 観光宣伝事業について

妙高ファン倶楽部事業、えちご妙高会との連携事業、観光宣伝ツールの作成やFMラジオ番組「ネイチャーシティ妙高」の放送など、妙高市の観光情報を発信し、誘客促進に努力したと思う。

- 1) 平成23年度の成果と効果はどのようなか。
- 2) 今後の課題をどのように考えているか。

1 総務費に関連して

- 1) 未来デザイン調査研究事業について
- 2) 地域審議会事業について
- 3) 妙高ふるさと暮らし応援事業について
- 4) 「MYOKO」ECOタウン事業について

2 農林水産業費に関連して

米粉原料米生産利用体制整備事業に関連して

3 教育費に関連して

- 1) 小学校大規模改修事業及び小学校耐震化推進事業について
- 2) 地域の元気づくり活動助成事業について

1 都市と農村交流推進事業の管理運営について

管理運営、検証結果はどうか。

2 耕作放棄地解消推進事業について

取りやめた理由は何か。

3 シティプロモーション推進事業の効果検証について

効果検証の結果をどのようにとらえているか。

4 観光宣伝事業の効果検証について

外国人観光客の落ち込み幅の減少と、今後の目標と取り組みの考えはどうか。

5 サテライト妙高の収支状況について

震災の影響と収支関係はどうか。

6 克雪施設整備事業について

消雪井戸の更新と、今冬の豪雪における機能への影響はどうか。

7 新井スマートインターについて

利用状況と、インター内道路の改善を図る考えはどうか。

4 丸山喜一郎

1 バス運行事業（ワンコインバスの実証運行）について

- 1) 運行方法はどのようか。
- 2) 運行（地域）別の利用状況は。
- 3) 「六・十朝市」への効果は。
- 4) 実証運行での課題は。
- 5) 本格運行に取り組むべきと考えるが。

2 霊園拡張事業（個別集合墓）について

- 1) 利用条件はどのようか。
- 2) 利用スペースはどの程度か。
- 3) 家族単位で利用することへの考えは。

3 新婚世帯家賃支援事業に関連して

- 1) 平成 23 年度中の新婚は何組か。
- 2) 再婚についての対応は。
- 3) 住宅対策とは別に、親と同居する人に対しても支援する必要があると考えるが。

4 都市計画道路見直し事業について

- 1) 地区住民の意見はどのようか。
- 2) 検証結果はどのようか。

3) 早急に結論を出し、新井総合公園について検証する必要があると考えるが。

5 学校施設設備（水道水）の充実に関連して

1) 現状はどのようなか。

2) 水温の温度変化に対する対応が必要と考えるが。

6 「妙高市民の心」推進事業（「ALL妙高」あいさつ運動の実施）について

1) どのように評価しているか。

2) 小、中学校はどのように指導されたか。またその評価は。

3) 通年で取り組み、運動の強化が必要と考えるが。

7 アートステージ妙高推進事業に関連して

1) 妙高夏の芸術学校について

① サマースクールの内容は。

② 参加人数の動向は。

③ 参加者の募集方法に問題はないか。

④ 市民が大勢参加できる仕組みが必要と考えるが。

2) 四季彩芸術展について

① 作品の展示はどのように行われているか。

② 家族で会場へ足を運ぶような展示会にすべきと考えるが。

8 障がい者就労支援施設管理運営事業（障がい者就労支援施設パン工房）について

1) 施設運営についての現状は。

2) 障がい者の能力向上、また生活の安定はどのようなか。

3) 販売の方法について現状のままでよいか。

1 艸原祭水ばしょう祭事業への支援について

当市の春の観光の目玉でもある艸原祭（大かやば焼）が震災の影響により、事業内容を変更して行われた。

- 1) 例年と比べ、どのように内容を変更し行ったのか。
- 2) 開催に向けてのPRは十分であったか。
- 3) 宿泊客の入り込み状況は。
- 4) 地元伝統芸能や「食のおもてなし」などについて、来場者の感想はどうだったか。
- 5) 豪雪等により大かやば焼ができない場合は、延期してでも開催してほしいという要望を聞くが考えは。

2 妙高高原ビジターセンター機能強化事業について

いもり池周辺整備事業により周回遊歩道やパークロード等も整備され、観光客の訪れに伴い来館者の増加を期待する。

- 1) 平成 22 年度は 5 万 9982 人、平成 23 年度は 8 万 6325 人と来館者数がふえている要因は。
- 2) 来館者の満足度を高めるために、どんなことに取り組んだか。
- 3) 今後に向けた長期的な取り組みや整備は。

3 男女が共にあゆむまちづくり事業について

- 1) パートナーシップ講座の参加者が少ない原因は。また今後の考えは。
- 2) ハッピー・パートナーへの新規登録事業所が 6 事業所となっているが、今後さらにふやすための考えは。
- 3) 女性のための相談窓口を設置し、相談件数が 27 件となっているが、主な相談内容は何か。また現状は。
- 4) これからの男女共同参画のため、今後どのように取り組んでいくのか。

4 ボランティア・NPO活動支援事業について

- 1) 市民活動支援センター運営業務について
震災により避難された方へのボランティア活動から得たものは何か。

2) 子ども・若者と市民活動団体の協働による地域活性化事業について

① 地域リーダーの育成の取り組みの内容は。

② 子ども・若者ボランティアの育成の取り組みの内容は。

6 渡辺幹衛

1 入札制度検討事業について

1) 最低制限価格設定基準は。

2) 設計価格に対する予定価格の設定率はどの程度か。

3) 請負率はどのようか。

4) 低価格落札の評価と対応は。

5) 予定価格ランクによる指名業者のランクは考慮されているのか。

2 「ひだなん」の状況について

1) 生産者の収入状況は。

2) 営業状況は月別にどのようか。

3) 経営改善対策は。

3 担い手確保支援事業について

法人化の状況と今後の経営見通しは。

4 サテライト妙高の営業状況について

23年度の経営状況は。

5 国際交流事業について

以前より見直しを求めてきたが、「主要な施策の成果説明書」では、コメント抜きの記載にとどまっている。成果はどのようか。

6 基金運用状況（土地開発基金）について

- 1) 今後の土地利用見通しは。
- 2) 現金 2 億 2000 万円の保有の必要理由は。
- 3) 保有土地の額は。

7 美術工芸品調書について

美術工芸品のうち、学校等の所有実態と廃校時の処分方法は。

8 公共下水道・集落排水事業会計の「みなし償却」について

- 1) 補助金の占める割合が大きい公共下水道・集落排水事業会計における「減価償却費」のうち、「みなし償却」はどのように扱っているか。
- 2) 今後「みなし償却」の廃止によるコスト算定への影響はどのようなか。

9 市税等の徴収について

- 1) 22 年度分入湯税不納欠損処分が、異常にふえた理由は。
- 2) 関連で収入未済 880 万円余の状況は。
- 3) 固定資産税の徴収率は 52.6%にまで低下し、滞納額は 24 億円を越えた。大口滞納の解消見込みは。
- 4) 財産貸付収入の収入未済発生事由は。

10 職員能力開発事業に関連して

- 1) 職員の健康管理の状況は。(年休、療養休暇の取得)
- 2) 職員の評定等は。(評定と昇給)
- 3) 退職者の状況と対応は。

1 協働型地域コミュニティ創出事業について

- 1) 地域コミュニティ振興指針策定に当たり、市民検討会の設置や自治会長のアンケート調査等で意見を聞いているが、どのように反映されているか。
- 2) これからの課題は、市民への周知徹底だと思うが、方法は。

2 行財政改革推進事業について

- 1) 行政改革市民検討会の市民の声は。
- 2) 行革の推進の中では、自治基本条例の周知も必要だが、方法は。
- 3) 民間委託の現状は。

3 コミュニティ防災組織育成推進事業について

- 1) 地域防災マップづくりの支援の効果は。
- 2) 防災士の養成の状況と地域での役割と位置づけは。

4 妙高型健康都市構想事業について

気候療法士の育成はどのように行われたのか。

5 行政評価推進事業について

- 1) 行政評価に対する職員の認識は。
- 2) 第三者評価の事業に対する反映は。

6 市税徴収確保対策事業について

- 1) 高額滞納案件に対する削減方法は。
- 2) 差し押さえが前年度より倍増しているが、実態は。
- 3) 執行停止の基準は。

7 競技スポーツ推進事業について

- 1) 競技水準ベースアップ事業の現状は。
- 2) ジュニア競技スポーツ育成の実情は。

3) 激励金の支給方法は。

8 スポーツ等合宿の郷づくり事業について

1) アイシングプール整備の効果は。

2) 合宿のピーク時はスポーツ施設が満杯状態となっているが、今後の課題は。

8 塚田克己

1 障がい者援護支援事業について

1) 通所施設の利用状況と成果は。

2) にしき特別支援学校高等部等の卒業生の受け入れ態勢はどうか。

3) 就労移行支援事業による成果とその評価は。

2 障がい者就労支援施設管理運営事業について

1) 各就労支援施設の運営状況と成果は。

2) 米粉パンの学校給食と一般販売の状況と成果は。

3) 賃金の収入状況と成果は。

3 新井頸南広域行政組合事業について

直接搬入処理量の状況と搬入日の取り扱いは。

4 米政策推進対策事業について

戸別所得補償の農家所得確保への影響と対象外の取り扱いは。

5 耕作放棄地解消推進事業について

6 都市計画道路見直し事業について

見直し検証後、どのように進めるか。

1 協働型地域コミュニティ創出事業について

- 1) 地域サポート人を配置している地域全体に趣旨、計画内容等の説明は十分にされているのか。
- 2) 今年4月に計画書がまとめられているが、内容をどのように評価しているか。
- 3) どの程度の継続を考えているのか。サポート人の増員は考えているか。
- 4) 計画を実施するには多額の費用が必要になってくるが、総額でどの程度見込んでいるのか。

2 妙高ふるさと暮らし応援事業について

- 1) 市内の空き家調査の結果は。
- 2) 実績では空き家情報登録4件、利用希望者登録6件、成約1件となっているが、登録並びに成約件数が少ないのはどのような理由か。
- 3) 今後継続していく上で課題は何か。
- 4) 先進地を視察しているが、この事業にどう生かされているか。

3 老人クラブ助成事業について

- 1) 合併後の単位老人クラブ数は減少傾向にあると聞くが、年度ごとの実態は。
- 2) 組織が消滅している地区はどの程度あるのか。
- 3) 行政ではどのような原因で組織が消滅しているとみているのか。
- 4) 行政のかかわりをもっと深めるべきと思うが、その考えは。

4 生活習慣病予防事業について

- 1) 各種がん検診の受診率が示されているが、どのように評価しているか。
- 2) この受診率は、市内の企業等で受診されている方も含まれているのか。含めた数字で評価し、市民に知らせるべきではないか。
- 3) 受診率を上げるには、どのような方策があると考えているか。
- 4) 早期発見、早期治療、自分の体は自分で守る等の意識啓発活動にさらに力を入れるべきではないか。

5 非常備消防費（消防団員の確保）について

- 1) 団実員数 1035 人で定員不足になっているが、各団の活動に支障はないのか。
- 2) 新入団員の確保は、なかなか厳しいと聞くが、現状をどのように把握しているか。
- 3) 正団員のほかに準団員（大会や訓練に不参加、地元を中心に活動、手当て・保証あり）を組織し、消防団活動を行っている自治体もあると聞くが導入する考えは。